

# 障害のある人が身近な地域で安心して暮らせるよう支援します

予算額 477,113千円

## 1 障害者施設設置費補助金 457,499千円

障害のある人が身近な地域で暮らすことができるようグループホームや障害児者施設の整備費に対して助成します。

- ・グループホーム、障害児者施設 11施設

## 2 障害者地域移行推進事業費 19,614千円

### ○ 共同生活援助事業所の世話人の確保

- ・グループホームの世話人確保のため、世話人の仕事紹介や仕事体験を実施します。

### ○ 地域生活を体験する機会の提供

- ・施設入所者等が地域生活を具体的にイメージできるよう、地域のグループホーム等を活用した体験事業や出前講座を実施します。

### ○ 障害者の新たな仕事の創出

- ・障害者の工賃等の向上のため、企業と就労継続支援事業所等をマッチングし、新たな受注や仕事を生み出す取組を実施します。
- ・企業と芸術的な才能がある障害者をマッチングし、障害者雇用へつなげる取組を実施します。

[障害福祉サービス事業所で生産された商品(例)]



アート紙ファイル

(障害のある方が描いた作品をデザイン化したファイル)

# 障害のある人の社会参加と障害への理解促進を図ります

予算額 52,779千円

## 1 障害者コミュニケーション手段利用促進費

34,389千円

### ◆意思疎通支援者の養成・派遣

障害のある人が社会の構成員として地域の中で安心して生活を送ることができるよう、意思疎通支援者の養成や派遣などを行います。

- ・手話通訳者や要約筆記者等の意思疎通支援者の養成・派遣
- ・頸肩腕障害予防のための健康診断や健康管理講座の実施

### ◆障害の特性に応じたコミュニケーション手段に関する普及啓発

障害に対する理解や配慮についての普及啓発を図るため、県民向けに障害の特性に応じたコミュニケーション手段についてのセミナーを開催します。

## 2 ヘルプマーク普及促進事業費

454千円

### ◆ヘルプマークの普及促進

義足や人工関節を使用している人等、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい人々が、配慮を必要としていることを周囲の方に知らせるための手段となる「ヘルプマーク」の普及を促進します。

- ・普及啓発リーフレット等の作成、配布
- ・市町村と連携したヘルプマークの作成、配布



ヘルプマーク

## 3 障害者芸術文化活動推進事業費

17,936千円

### ◆あいちアール・ブリュットの推進

「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」を通して、障害のある人の社会参加と障害への理解促進を図ります。

- ・作品展、舞台・ステージ発表等を開催
- ・芸術系大学の教員等が障害者支援施設等を訪問し、造形活動の指導を行う出前講座の実施
- ・あいちアール・ブリュット展の三河地域でのサテライト開催の実施



ロゴマーク

### ◆10周年記念事業の実施（新規）

「あいちアール・ブリュット展」開催

10周年を記念し、各種事業を実施します。

- ・過去の入選者等の活躍を称える記念式典及び記念美術館展示の開催
- ・取組実績を発信するための記念誌及び記念動画の作成
- ・愛知芸術文化センター及び県図書館における長期展示の実施

### ◆障害者の芸術活動を支援する人材の育成

障害のある人の創作・表現活動を支援する人材を育成します。

- ・著作権や支援方法に関する研修会の開催等



# 「愛知・つながりプラン2023」に基づき、 特別支援教育を充実します

予算額 4, 521, 187千円  
(外に債務負担行為 117, 590千円)

2018年12月に策定した「第2期愛知県特別支援教育推進計画(愛知・つながりプラン2023)」に基づき、特別支援学校の整備を進めるとともに、児童生徒に対する支援体制を強化します。

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>1 岡崎特別支援学校移転整備費</b> 3, 413, 959千円<br/>学習環境の改善や立地上の課題を解消するため、移転に向けた建設工事を行います。<br/>○ 現在地：岡崎市本宿町<br/>○ 移転先：岡崎市美合町地内(県立農業大学校敷地内)<br/>○ 開校予定：2024年4月</p> <p><b>2 いなざわ特別支援学校整備費</b> 126, 426千円<br/>教室不足の解消を図るため、いなざわ特別支援学校敷地内への校舎増築に向けた実施設計等を行います。<br/>○ 供用開始予定：2025年9月</p> <p><b>3 小牧特別支援学校整備費</b> 102, 795千円<br/>(外に債務負担行為 117, 590千円)<br/>一宮東特別支援学校の教室不足の解消を図るため、小牧特別支援学校敷地内への校舎増築に向けた実施設計等を行います。<br/>○ 供用開始予定：2026年4月</p> <p><b>4 名古屋市立若宮高等特別支援学校施設整備費補助金(新規)</b> 80, 971千円<br/>名古屋市が行う市立高等特別支援学校(知的障害)の施設整備事業を支援します。</p> | <p><b>5 スクールバスの増車</b> 766, 557千円<br/>千種聾学校ひがしうら校舎の開校に伴い、バスを1台増車します。また、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減を図るため、スクールバスの増車による対応を継続します。</p> <p><b>6 特別支援教育推進計画策定費(新規)</b> 890千円<br/>「第2期愛知県特別支援教育推進計画(愛知・つながりプラン2023)」の進捗や成果を分析するとともに、中・長期的な視点に立った推進方策を検討し、次期特別支援教育推進計画を策定します。〔策定時期：2023年度〕</p> <p><b>7 就労支援推進事業費</b> 14, 871千円<br/>○ 就労アドバイザーの配置 5人</p> <p><b>8 心豊かな児童生徒育成推進事業費</b> 14, 718千円<br/>○ スクールカウンセラーの配置 5人<br/>○ スクールソーシャルワーカーの配置 2人</p> <p>&lt;参考&gt;<br/>看護師による医療的ケア実施体制の充実<br/>医療的ケアが必要となる児童生徒に適切なケアを行うため、県立学校の看護師を増員します。<br/>○ 常勤看護師の配置 14人 → 16人<br/>○ 非常勤看護師の配置 85人 → 103人</p> |
|---|---|

# 愛知から障害者スポーツを盛り上げます

予算額 24,443千円

愛知から障害者スポーツを盛り上げ、スポーツを活かした共生社会をリードしていくため、有識者や関係団体等の意見を踏まえた取組を進めるとともに、アジアパラ競技大会の開催機運醸成を図ります。

## 1 障害者スポーツ推進事業費 20,443千円

### 【土台づくり】

- あいち障害者スポーツ連絡協議会の開催  
県、パラアスリート、スポーツ団体、経済団体、医療関係者等による連携体制を構築

### 【普及啓発】

- ポータルサイト「aispo!Do!」の運営  
スポーツ大会やイベントの情報、スポーツ施設のバリアフリー情報などを広く発信・共有

### 【交流促進】

- 地域で障害者も参加できるスポーツプログラムの実施  
総合型地域スポーツクラブを活用して健常者と障害者の交流を促進
- 交流イベント「あいちパラスポPARK」の開催  
誰もがスポーツを通じて交流を深められるイベントを開催

### 【機会創出】

- 地域や医療機関でのスポーツ体験機会の創出  
ボッチャ等の競技用具を総合型地域スポーツクラブやリハビリ施設等へ貸出

### 【人材育成】

- スポーツ指導者への障害者スポーツ勉強会・体験会の実施  
地域における障害者スポーツ推進のキーパーソンを育成
- あいちパラスポーツサポーターの育成  
障害者スポーツを理解し応援するサポーターを育成し認定
- 若手指導者の確保  
障害者スポーツ指導員の資格を取得予定の学生を対象に事例発表会や指導体験会等を実施
- 指導者のリ・スタート支援  
活動を再開しようとする障害者スポーツ指導員を対象に学びなおしの場としてセミナー等を実施

## 2 第5回世界身体障害者野球大会開催費負担金（新規） 4,000千円

2023年9月9日（土）、10日（日）にバンテリンドームナゴヤで開催される世界身体障害者野球大会の開催費に対する負担